

# 自主財源確保による地域づくりとその持続可能性について

代表研究者：松下 未優

共同研究者：安倍 愛里菜・権代 歌織

## 〈目 次〉

- I 研究の背景と目的
- II 研究方法
- III 地域の概要
  - 1. やねだん
  - 2. 大山団地
  - 3. 今井町
- IV 後継者への引き継ぎ時期
- V 活動スタイル
- VI まとめ

## I 研究の背景と目的

先進的な地域活動には、カリスマリーダーが存在する。このような地域で今後も活動を引き継いでいくためには後継者が必要であるが、カリスマリーダーの後を引き継ぐことは後継者にとってプレッシャーになることであろう。そこで本研究では、現在カリスマリーダーが存在する先進事例として東京都立川市大山団地や鹿児島県鹿屋市申良町柳谷集落、奈良県橿原市今井町を対象に、現リーダーや後継者の思いを聞き、今後後継者に活動を継承していく上での課題を明らかにする。

## II 研究方法

①大山団地前自治会長佐藤氏、②柳谷集落（通称やねだん）次期後継者候補今村氏、③今井町保存会会長若林氏の3名を対象にヒアリング調査を実施した。①会長から退き既に後継者に引き継いでいる事例（佐藤氏）、②次期後継者候補の事例（今村氏）、③現在も会長として活躍している事例（若林氏）という3つの事例から考える。

## III 地域の概要

### 1. 大山団地

大山団地は東京都立川市にある都営上砂町一丁目アパートで、通称「大山団地」として親しまれている団地である。現在は約1,470世帯の4分の1程度が単身高齢者である。そのため自治会は、高齢者対策として「見守りネットワーク」の構築や企業との連携など、様々な活動に取り組んでいる。さらに、子どもやその親をサポートする子育て支援も行っている。これらの活動を大山団地で取り組み始めたのは佐藤前自治会長である。既に自治会長は引き継がれているが、現在でも佐藤氏はサポート役として関わっている。



写真1 大山団地



写真2 ヒアリング風景

## 2. やねだん

柳谷集落、通称やねだんは120世帯およそ300人が暮らす、高齢化が進む中山間地域の集落である。地域住民が主体となって、土着菌堆肥やカライモの栽培、オリジナル焼酎開発などの活動に取り組んで自主財源を確保し、行政に頼らないむらおこしを目指している地域として全国的に注目されるようになった。これらの活動を精力的に取り組み始めたのは、豊重公民館長である。



写真3 やねだん



写真4 ヒアリング風景

## 3. 今井町

今井町は中世のたたずまいと情緒を残す地域である。平成5年には重要伝統的建造物群保存地区に選定された。東西約600m、南北約310m、面積にして17.4haの地区内には、全建物数約1500棟弱のうち約500棟の伝統建造物があり、全国でも最も多い地区となっている。今井町では伝統ある町を守るために今井町並み散歩や今井灯火会などが行われており、町並み保存会会長の若林氏をはじめとして、住民が主体となって、町並み保存に尽力している。



写真5 今井町



写真6 空き家修繕作業

#### IV 後継者への引き継ぎ時期

##### 1. 大山団地(佐藤氏)

自分が56歳頃に会長に就任したこともあり、平成27年、現会長が56歳の時に引き継いだ。地域によっては会長の地位にしがみついているところもあるが、自分が元気なうちに後継者を育ててタイミングよく交代すると、自分の新たな居場所を見つけたり、後継者をサポートする役にまわったりすることができる。

現会長は元々副会長をやっていた。最終的には選考委員による投票で決まった。

サラリーマンだと任せるのは難しいが、現会長は自営業(建築業)だから何かあった時に駆けつけてくれやすい。

次の代への引き継ぎに関しては、自分で見つけなさいと任せている。副会長など役員の中で見つけるか、新しい人を見つけて一から育てるかは自分の采配だと伝えている。

##### 2. やねだん(今村氏)

現在町内会の役職には就いていないが、上小原ふるさとの会の一員として活動している。公民館長の引継ぎはまだしていない。サラリーマン(浄化槽の維持管理をする仕事)をしていて、仕事をやりながら公民館長を務めるのは難しい。あと10年先となったら現公民館長の豊重氏は84歳になる。豊重氏が84歳になったときには公民館長をしている可能性は低いだろう。自分と豊重氏の間の中層(60代)の人はいるが、リーダー的存在の人がいない。ゆくゆくは自分もリーダーをする気はあるが、自分がその世代を飛び越えてリーダーになることはない。やるべき人がやるのではないだろうかと思っている。自分がリーダーになる前に先輩たちの動きを見ることが出来る期間はありがたい。現在自分がリーダーになるんだという強い思いはない。今は充電期間中である。

子供が3人いて、長男は社会人、長女は専門学校、次女が今年中学校を卒業するから、ほとんど子供に手がかからなくなってきている。だから少し地域活動をする余裕が出てきて、休みのときは積極的に地域活動に出ないといけないという気持ちはある。

##### 3. 今井町(若林氏)

自分が元気なうちに引き継げたらいいが、後継者候補が仕事をしている間は難しい。開催期間が長いイベントが多いが、長期間会社を休んでまでイベントに参加する人はほとんどいない。

後継者候補は、人柄だけを見たら任せたい人はいるが実務が未熟である。その反対もいる。バランスよくこなしていける人材に育てていきたい。

## V 活動スタイル

### 1. 大山団地(佐藤氏)

自分が講演に行くときは当時後継者候補であった現会長と一緒に連れて行っていた。前会長が話していたことと全く筋が違うと言われないように、話の内容、具体的な数値などを共有することを鉄則としている。

自治会は義務や強制的なものではなく、互いに支え合うことで無理のない仕事ができるものだと思っている。役員にとって一番大事なのは家庭、その次に仕事と言っている。

プレッシャーは考えなくていいと伝えた。自分たちのできる範囲でやって、できないところは相談役として相談に乗る。これからの自治会活動は社会のニーズにあったものを取り入れていく必要がある。遅れたものは誰も興味がなく、同じものをずっとやっていくわけにはいかない。今人々がどのようなものを望んでいるか、世間の声を聞き、それに合わせた情報を常に発信していかなくてはならない。

### 2. やねだん(今村氏)

プレッシャーはある。豊重氏ほどはできない。自分でできる範囲は決まっている。豊重氏はやねだんを中心に活動しているが、自分はやねだんを拠点にして、もう少し広い範囲で、やねだんも含めた上小原校区で活動していこうと考えている。一方で、豊重氏が築き上げてきたものを持続させないといけないという気持ちもある。近隣の住民が誰だかわからなくなるような状況にはしたくない。道端で会えばあいさつができ、どこに行っても受け入れてくれるような昔ながらの雰囲気を大切にしたい。

現在の活動では、祭りやイベントなど新しいものをつくることもするし、古いものを復活させようともしている。

### 3. 今井町(若林氏)

まず自分が活動する中で住民の信頼を得る。信頼を築いたものを次の世代に引き継ぐ。自立できるところまで育てていく。まちづくりは得にならない(金にならない)のにとでもエネルギーを使う。ばか者でないとリーダーは務まらない。カリスマリーダーがいるということは次期後継者との差が大きいということである。同じことをやるなら誰でもできる。時代に合わせて町を引っ張っていける人材に育てていきたいが、そのような質のいい人材を育てるためには時間がかかる。それを歯がゆいと感じるし、怒る時もある。指導者として自分は未熟ではないかと思う時もある。

また、今井町には若い人は住んでいるが、24時間(特に昼間)町にいる若者がいないため、24時間地域活動ができるような体制を作る必要がある。そこで、大学生の力を借りてサポート役をしてもらっており、昼間町に残っている人の協力を促している。

## VI まとめ

今回の調査で、後継者に継承する際の課題が二つ明らかになった。

一つ目は、後継者への引き継ぎ時期についてである。リーダー後継者が仕事をしている間（定年前）は地域活動のリーダーを務めることは難しいということである。仮に50代でリーダーに任命されるとしたら、自営業など仕事に融通がききやすい人でなければ仕事と地域活動の両立は厳しいのではないかと考える。また、定年を迎えてからリーダーになるということはリーダーになる人の年齢も高くなるということである。年齢や体力的な問題もあるため、タイミングよく後継者に引き継ぐことも必要である。

二つ目は、引き継ぎ後の活動スタイルについてである。リーダーが築いてきたことを踏襲することも必要であるが、後継者ができる範囲で自分なりの活動をしていくことも必要であるということである。その時代のニーズも変化することが考えられるため、時代に合わせて新しい活動に取り組み、臨機応変に対応していく力が求められるのではないだろうか。

## 参考文献

- ・ 豊重哲郎, 2004, 『地域再生 行政に頼らない「むら」おこし』あさんてーな
- ・ 出町譲, 2017, 『日本への遺言 地域再生の神様〈豊重哲郎〉が起こした奇跡』幻冬舎
- ・ 橿原市/かしはら探訪ナビ 〈<http://www.city.kashihara.nara.jp/kankou/index.html>〉 (2018,1,24 最終閲覧)
- ・ マンションライフ総合支援サイト マンションのW a 誰もが安心して暮らせる団地 〈<https://mansion-wa.com/community/article/num746.html>〉 (2018,1,24 最終閲覧)
- ・ やねだん(鹿児島県鹿屋市申良町柳谷集落) 〈<http://www.yanedan.com/>〉 (2018,1,24 最終閲覧)